

第4回 ごみ処理施設等使用料見直し検討委員会 会議録 要旨

I 日 時 平成28年3月17日(木) 13:30～14:15

II 場 所 リサイクルセンター エコリア北薩

III 次 第

【委員会】

- 1 開会
- 2 組合あいさつ
- 3 前回議事録確認
- 4 委員長あいさつ
- 5 委員会検討内容及びスケジュール再確認
- 6 審議・確認

ごみ処理施設等の使用料見直しに関する検討結果について

- (1) はじめに
 - (2) 可燃ごみ・不燃ごみの料金体制について
 - (3) 消費税の取り扱いについて
 - (4) 資源ごみの施設使用料について
 - (5) し尿処理施設の施設使用料について
 - (6) 使用料改定の期間設定について
 - (7) 使用料改定額について(案1)
 - (8) 使用料改定額について(案2)
 - (9) その他
- 7 閉会

IV 議事録(要旨)

- 1) 開会
- 2) 組合あいさつ
- 3) 前回議事録確認

【前回の意見を踏まえ、議事録をホームページに公開することを確認した。】

- 4) 委員長あいさつ

委員長：委員会の進行は、前回同様、事務局から項目ごとに説明をいただき、その内

容について委員会で審議するとの流れで進めたいが、その進め方でよいか。

一 同：はい。

委員長：以降、そのような進め方とする。

5) 委員会検討内容及びスケジュール再確認

【事務局より委員会検討内容及びスケジュール再確認を説明した。】

6) 審議・確認

(1) ごみ処理施設等の使用料見直しに関する検討結果について

【事務局より、使用料見直しに関する検討結果について説明した。】

委員長：委員の方からご意見、ご質疑をお伺いしたい。

委員：決まった内容については、特にないが、気になっているのが(6)の使用料改定の期間設定について、新焼却処理の整備時は、新しい施設に見合った使用料にすることが望ましいというのは当然であるので、スケジュールの中に入れて頂きたい。皆さんは、焼却炉のリスク対応的な経費負担についてはどう考えているのか。例えば、緊急対応時における自家発電はあるのか。

事務局：まず、現在の施設は、自家発電装置はある。しかしながら、この装置は、運転時の停電に備え、焼却炉を安全に停止させるための非常用発電であり、運転を継続させる能力までではない。今後予定される焼却施設は、発電を設け施設の電力が賄えるような施設を計画中である。

委員：もう一つ、福島は極端な例であるが、決して他人事ではなく、日本国民に対する警告と受け止めなければならない。自然災害を考えたとき、出水においては集中豪雨によるリスクが考えられるが、廃棄物のリスク対応というのは、現状はどうなっているのか。

事務局：環境センターでは平成18年の水害時には、最終処分場に災害ごみを仮置きし、焼却できる範囲で持ち込んで処理を行っていた。今回計画される新しい焼却施設については、災害廃棄物置場を設け、国の交付金を活用しながら進めていくが、活用するにあたり、災害廃棄物の容量を加味した上で計画を立てるようになってきているので、基本計画では90tとしているが、その中に災害廃棄物を含めている。

委員：今、私が場違いな質問をしたのは、ただ、安ければいいということではなく、多少負担があっても緊急時に対応できるようにしておいた方がいいという意見を持っているので、補足意見として質の向上を加味して最終的に判断していただきたい。

委員：見直し期間を5年としているが、5年以内に新しい施設が計画されているので、臨時に見直す機会を設けたほうが良いと思う。

事務局：前回の委員の方の意見として、新焼却施設の整備時には、新しい施設に見合った使用料にすることが望ましいということを確認していただいた。予定では4年後の完成を予定としているので、その時には見直しが必要ではないかと考える。

委員：昨年の台風による災害廃棄物の2市1町の対応はどうだったのか。

事務局：昨年の台風で被害が1番大きかったのは出水市だったと思う。組合にも個人の方が持って来たのだが、受入に際して分別をお願いし、可能な限り処理を行った。今後も市町と協議しながら連携していく。

委員長：他に意見はないか。なければ、案に賛成の方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

委員長：では、この案でいきたいと思う。

(2) その他

事務局：本回会議録の取り扱いについてご審議いただきたい。

委員長：事務局としては、委員会において前回会議録の公表を承認していたが、本日で委員会も終わる。この会議録をホームページに掲載するに当たっての取り扱いをどうするかということである。方法としては、各委員、持ち回りとするか、私に一任するか、意見を伺いたい。

委員：私は、内容的には十分審議されて、真剣に取り組んだと思うし、審議を尽くしたと思う。それを見てどうこうということもないと思うので、委員長に一任でいいと思う。

委員長：今、委員長一任という意見が出たがよろしいか。

一同：異議なし。

委員長：では、今日の会議録は、私に一任ということで取り扱う。他にないか。

委員長：皆様には、昨年末から忙しい時期に検討委員会に出席され、建設的な意見を出してもらい、事務局の方からは会議に必要な資料をご提出いただいたことでスムーズに目標達成できたと思う。皆様のご協力のおかげで無事終了できた。この席を借り感謝申し上げます。最後に皆様のそれぞれの部署での活躍とご多幸を祈念して挨拶とする。

事務局：以上で終了する。